

「うちの子は大丈夫」と思っていませんか？ 親子で防犯ワークを やってみよう！

新生活に慣れ、日も長くなるこの季節。実は下校時や放課後の「声かけ事案」が一年の中でも発生しやすい時期なんです。大切なのは、親子で「具体的にどう動くか」を練習しておくこと。三つのワークで、「自分で守る力」を育てましょう。

問 暮らしの安全課 TEL 048-736-1126

※「声かけ事案」とは、18歳以下の者に対して「声をかける」「手を引く」「後をつける」などの行為を指します



ワーク WORK 01

こどもの「危ない!!ポイント」を考えてみよう!

通学路や、自宅と習い事の往復中、よく遊ぶ公園などで話しかけられるかも。

玄関で「お家の人は何時に帰ってくる?」と聞かれた



留守になる時間帯や、一人になるタイミングの情報収集をしているかも

路地で「一緒にペットを探して」と頼まれた



人目のつかない場所へ連れていかれたり、付きまといられたりするかも

公園で「写真を撮ってもいい?」と聞かれた



近づいてきて無理やり手を引かれたり、体を触られたりするかも

ワーク WORK 02

家族で話そう防犯ルール

出掛けるときの約束事などを決めてみよう!

お出掛けの合言葉

- ① 誰と
 - ② どこで
 - ③ 何時に帰るか
- を必ず伝えよう

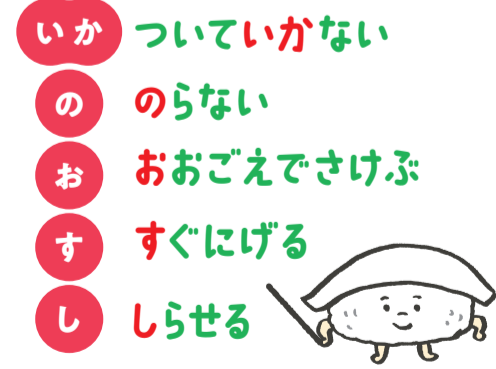
帰ったときの鉄則

玄関前で「ただいま!」と言って入り、すぐに鍵をかけよう

「ただいま!」と声を出すことで、家に人がいるアピールになります。ドアに鍵をかけるのを習慣にするとGOOD。

知っておきたい「声かけ事案」のリアル

下校、帰宅時の一人にいるときに狙われやすいから「いかのおすし」が大事なのね!



「いかのおすし」は警視庁が考案した身を守るための5つの行動ルールを覚えやすくまとめたものです。



*1 出典元: (子どもに対する声かけ事案(令和7年中))埼玉県警察本部生活安全部生活安全総務課より
*2 出典元: (声かけ事案の行為者から免れた事例(行為形態別件数))より

「いかのおすし」の防犯行動で効果があった件数^{※2}

581件

昨年よりも32件増

ワーク WORK 03



「いかのおすし」を一緒に練習してみよう!

こどもを犯罪から守るには、「いかのおすし」を繰り返し、具体的にこどもに伝え、親子で確認することがとても大切です。一緒にシミュレーションをしてみましょう。

ケース CASE 02

「お母さんが大変!車で病院に連れて行ってあげる」と声をかけられたら



ポイント POINT

無理やり連れ込まれることもあるので、できるだけ離れよう。

ケース CASE 04

追いかけてこわい、腕をつがまれそうになったら



ポイント POINT

コンビニなどのお店やこども110番の家[※]など、事前に大人がいるところを確認しておこう。
※こども110番の家…こどもが不審者に追われたり、危険を感じたりしたときに、逃げ込んで助けを求められる民家や店舗など

ケース CASE 01

公園で「お菓子をあげるからこっちにおいでよ」と声をかけられたら



ポイント POINT

「いやです」「行きません」「大人に聞いてください」とはっきり断ろう。

ケース CASE 03

しつこく声をかけてきたいやだな、こわいなと感じたら



ポイント POINT

ためらわず助けを呼んで。外出時には防犯ブザーを忘れずに携帯しよう。電池も定期的にチェックを。

ケース CASE 05

じろじろ見られた、ずっと後ろを歩いてきた、などいつもと違う出来事があったら



ポイント POINT

ちょっとしたことでも、その日のうちに家族や学校の先生に伝えよう。

備えあれば 憂いなし! お役立ちアイテム



キッズ携帯 (GPS機能)

離れた場所においても居場所をスマホでリアルタイムに把握できます。



センサーライト

人の動きを感じて点灯します。玄関先や裏口などに設置すると効果的。



補助錠

侵入に時間がかかる家は、犯人があきらめる確率がぐんと高まります。

防犯グッズ購入の補助金をご利用ください

防犯グッズ(屋外用センサーライト・センサーアラーム・補助錠・防犯フィルム)の購入費用の一部(補助対象経費の2分の1、上限2万円)を補助します。



安心安全情報メールを登録しよう

市では、不審者情報などに関する防犯情報に加え、子育て情報などをメールで配信しています。ぜひご登録ください。

